

市町村長特別セミナー～地方創生にむけて～

平成27年度「市町村長特別セミナー～地方創生にむけて～」を、7月13日、14日の2日間の日程で開催しました。今回は、全国各地から79名の市町村長・副市町村長の皆様にご参加いただきました。また、同時開催の管理職特別セミナーには、34名の部課長級管理職の皆様にご参加いただきました。

今回のセミナーでは、これからの地域づくりの諸課題として、「地域経済」「TPP対応」「環境問題対応」「農業・農村政策」を取り上げ、各分野の第一人者の方にご講演いただきました。

初日は、「アベノミクスと地域経済」と題して、株式会社日本総合研究所調査部主席研究員の藻谷浩介氏から、「ヒト、モノ、カネ・情報の循環・再生の不全」が、地域経済の問題の本質であることを述べ、その理解には、常に事実を数字で確認することが重要であるなど、大変参考となるお話をいただきました。参加者からは、「統計、現実のデータときちんと向き合う必要性を繰り返し強調しており、示唆に富む内容だった。」「鋭い視点で興味深く拝聴させて頂きました。」などの感想をいただきました。

次に、「TPP問題と日本の農業」と題して、東京大学社会科学研究所教授の中川淳司先生から、TPPの概要、背景と意義、交渉の今後の行方などについて説明後、農業分野における妥結点の見通しとその影響、TPPが地域の農業経営者にとって大きなチャンスとなることなどを、わかりやすくお話いただきました。参加者からは、「TPP問題をより深く理解できた。」「農業問題をはじめ、TPPの懸念が相当薄れた。大変参考になった。」などの感想をいただきました。

また、1日目の締めくくりとして、マリンピストの大熊理津子氏、金丸寛氏による「ミニコンサート」が催されました。日本の童謡など、誰もが知っている曲を演奏いただくこと

もに、途中で参加者に演奏に加わってもらうなど、マリンバの奥深さと親しみやすさを体感できる、音楽による地域活性化手法の参考となる演奏会でした。参加者からは、「マリンバだけで、これだけ豊富な表現ができるすばらしさは見事だ。」「マリンバは楽しく、もっと広がるとよい。」などの感想をいただきました。

2日目は、「地球温暖化という神話」と題して、東京理科大学総合教育機構理数教育研究センター教授の渡辺正先生から、大気中の二酸化炭素の濃度と気温との関連性や、地球温暖化の議論の背景などについて、大変興味深いお話をいただきました。会場では、参加者から積極的な質問がなされ、丁寧にご回答いただきました。参加者からは、「目からウロコの講演であった。データを分析し判断されていることが参考になった。」「講義を通して、自分が当たり前と思っている情報、知識をもう一度客観性を持たせることの大切さを感じた。」などの感想をいただきました。

最後に、「農山村は消滅しない」と題して、明治大学農学部教授の小田切徳美先生から、農山村の「地方創生」の本質は、人口減少下でも、地域を磨き、人々が輝き、内外の人を選択される地域を作るものであると述べられ、その具体的な取組や先進事例を豊富にあげていただくなど実務にも役立つお話をいただきました。参加者からは、「地方創生についての本質論を語っていただき大変勉強になった。」「地方創生の手がかりが見えてきた。とても良い内容だった。」などの感想をいただきました。

セミナー全体については、「今回のセミナーは、真実を語っていただいた点で大変有意義だった。」「これからも新しい情報提供を期待する」などの感想が参加者から寄せられました。

アベノミクスと 地域経済

株式会社日本総合研究所調査部
主席研究員

藻谷 浩介氏



ミニコンサート

マリンピスト
大熊 理津子氏
マリンピスト
金丸 寛氏



地球温暖化という 神話

東京理科大学総合教育機構
理数教育研究センター教授

渡辺 正先生



TPP問題と 日本の農業

東京大学社会科学研究所教授

中川 淳司先生



農山村は消滅しない

明治大学農学部教授

小田切 徳美先生

